

様式第2号（第8条関係）

審議会等会議録

会議の名称	第3回加須市魅力ある学校づくり審議会
開催日時	令和8年1月15日（木） 午後1時30分から午後3時まで
開催場所	加須市役所 本庁舎5階 504会議室
議長氏名	福田 康宏会長
出席委員	福田 康宏会長、寺井 次郎副会長、飯田 亜貴子委員、 江森 藤久委員、風間 啓委員、石川 安則委員、羽鳥 善治委員、 石原 肇委員、尾高 幸江委員、内田 親委員、市川 邦夫委員、 芳賀 英暢委員、清水 尚雄委員、南條 みぎわ委員、砂川 瞳委員、 関根 憲夫委員、藤間 昌子委員
欠席委員	町田 彰委員、外山 真衣委員、小海 昭彦委員
会議次第	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 （1）第2回審議会のおさらい （2）本市が目指す「魅力ある学校像」のイメージの具体化について （3）こどもたちにとってよりよい教育環境となる学級・学校規模について（グループ協議） （4）今後の取組について 4 閉会
会議資料の名称	・次第 ・資料1 第2回審議会のおさらい ・別紙 第2回審議会意見シート 主な意見等 ・資料2 第2回審議会 グループ協議の結果整理 ・資料3 こどもたちにとってよりよい教育環境となる学級・学校規模について ・資料4 今後の取組について
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由	

傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	生涯学習部長 齊藤 千恵美、学校教育部長 中島 高広、 魅力ある学校づくり推進室長 鈴木 大輔
事務局職員職・氏名	生涯学習部長 齊藤 千恵美、学校教育部長 中島 高広、 学校教育課長 高橋 一也、 魅力ある学校づくり推進室長 鈴木 大輔、同室主査 渡邊 圭佑、 同室魅力ある学校づくり推進専門員 杉田 勝
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局	1 開会
福田会長	2 会長あいさつ
事務局	以後の議事進行については、福田会長にお願いしたい。
福田会長	3 議題
	(1) 第2回審議会のおさらいについて、事務局から説明をお願いする。
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	(資料に基づき説明)
福田会長	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。
	(意見等なし)
福田会長	続いて、議題(2)本市が目指す「魅力ある学校像」のイメージの具体化(第2回審議会グループ協議の結果整理)について、事務局から説明をお願いする。
鈴木魅力ある学校 づくり推進室長	(資料に基づき説明)
福田会長	事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。
	(意見等なし)
福田会長	続いて、議題(3)こどもたちにとってよりよい教育環境となる学級・学校規模に関するグループ協議に移らせていただく。
	委員の皆さんがイメージする望ましい学級・学校規模について、3つのグループに分かれて意見交換をしていただく。
	委員の皆さんがそれぞれの立場から活発な意見交換が交わされるよう、協力をお願いしたい。

<p>関根委員</p>	<p>グループ協議には私と寺井副会長も参加するため、グループ協議終了までの進行を事務局に願います。</p> <p>グループ協議に入る前に一点確認したい。 協議の前提として、文部科学省が示す小中学校の学級編制基準について、現状がどのようになっているのか説明いただきたい。</p>
<p>中島学校教育部長</p>	<p>現行の基準では、小学校は1学級35人、中学校は1学級40人が上限と定められている。</p> <p>上限を超える場合は学級を分けることとなり、例えば小学校で1学年36人となると、18人ずつの2学級に分かれる。</p> <p>つまり、1学年2学級編制である場合の1学級あたりの最低人数は18人となる。</p> <p>一方で、1学年1学級のいわゆる単学級の場合は、最低人数の18人を下回ってもそのまま減り続ける。</p> <p>そして、隣接する2学年の合計が16人を下回ると、2つの学年を1つの学級として担任が指導する複式学級となる。</p> <p>現在、大越小学校では複式学級が存在しているが、市の負担で教員を追加配置し、各学年に1人の教員を配置して授業を行うなどの工夫をしている状況である。</p>
<p>鈴木魅力ある学校づくり推進室長</p>	<p>(グループ協議の進め方について説明)</p> <p>それでは、グループ協議を開始する。</p>
<p>各委員</p>	<p>(3グループに分かれ、グループ協議)</p>
<p>鈴木魅力ある学校づくり推進室長</p>	<p>意見がまとまったようなので、各グループからの発表に移りたい。 まず、Aグループからお願いしたい。</p>
<p>Aグループ (清水委員)</p>	<p>小学校の学級規模は、1学級当たり20人から30人程度が望ましいとの意見であった。</p> <p>集団活動や友人関係の形成にはある程度の人数が必要である一方、きめ細やかな教育・指導を行う観点からも、この程度の規模が適当であるとの認識でまとまった。</p> <p>また、1学年当たりの学級数は、児童に何かあった場合に環境を変</p>

<p>Bグループ (砂川委員)</p>	<p>えられる「逃げ道」を確保するといった理由から、2学級から3学級は必要との意見であった。</p> <p>中学校の1学級当たりの人数は、30人から35人くらいが望ましいとの意見であった。</p> <p>人間形成を図る上で、また、発達段階を踏まえて手厚い支援を行うべきとの観点から、この規模が適当であるとした。</p> <p>1学年当たりの学級数は、4学級から6学級が望ましいと考えた。</p> <p>社会性の醸成、競争や学習意欲を高めるには、このくらいの規模がよいのではないか、との意見であった。</p>
<p>Cグループ (江森委員)</p>	<p>小学校の学級規模は、人数が多すぎると教員の目が行き届かず、十分に面倒を見切れないという理由から、1学級当たり20人前後が望ましいとの意見であった。</p> <p>また、1学年当たりの学級数は、2学級以上が必要と考えた。</p> <p>クラス替えができる規模が望ましいといった声があったほか、行事や鼓笛等の活動が成立しなくなってしまうといった理由からである。</p> <p>中学校の学級規模は、1学級当たり30人前後で、1学年当たりの学級数は、3学級から4学級が望ましいとの意見であった。</p> <p>1学年100人程度をキープしないと、高校進学以降の人間関係への適応や、生徒同士が競い合える環境が確保しにくいとの声があった。</p>
<p>鈴木魅力ある学校 づくり推進室長</p>	<p>学校規模については、小学校は1学年当たり2学級以上、中学校は2、3学級以上が必要との意見であった。</p> <p>人間関係で問題を抱えているこどもへの対応や、不登校の解消、競争環境の創出などにおいて、その程度のクラスは必要だろうといった意見があった。</p> <p>1学級当たりの人数については、様々な意見が出たものの、20人から30人程度が適当であると整理した。</p> <p>先生の目が行き届くといった点では、人数が少ない方が学力は高まる可能性がある一方、グループワークが成立しにくいといった課題もある。</p> <p>また、加須市の児童生徒数は減少しているため、理想と現実のバランスをとる必要があるとの意見もあった。</p> <p>活発な意見交換により、非常に多くの意見を出していただき、感謝する。</p>

<p>福田会長</p>	<p>グループ協議が終了したため、議事進行を会長にお戻しする。</p> <p>それぞれの委員の立場からの意見をいただいた。 今回まとめていただいたご意見は、今後の計画づくりにおいて重要なポイントとなる。</p> <p>続いて、議題（４）今後の取組について、事務局より説明願いたい。</p>
<p>鈴木魅力ある学校 づくり推進室長</p>	<p>（資料により説明）</p>
<p>福田会長</p>	<p>事務局説明を受けて、ご意見、ご質問があればご発言いただきたい。</p>
<p>江森委員</p>	<p>再編検討ブロック案の検討に当たっては、各小学校半径2 kmの円を示した小中学校配置図と、大字丁目別にこどもの人口密度が把握できるような資料があるとよい。</p>
<p>鈴木魅力ある学校 づくり推進室長</p>	<p>ご要望いただいた資料を用意する。</p>
<p>福田会長</p>	<p>議題は以上で終了となる。 本日出た意見は、事務局でよく整理し、適切に対応されたい。 事務局より追加説明はあるか。</p>
<p>鈴木魅力ある学校 づくり推進室長</p>	<p>（意見シートの提出について依頼するとともに、次回日程は、2月下旬を予定しており、日時や会場等が決まり次第委員に通知することを説明）</p>
<p>福田会長</p>	<p>以上で本日予定していた議事は全て終了した。 これにて本日の議長の任を降りさせていただく。</p>
<p>事務局</p>	<p>閉会のあいさつを寺井副会長にお願いしたい。</p>
<p>寺井副会長</p>	<p>閉会あいさつ</p> <p>4 閉会</p>

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和 8 年 ㍻ 月 ㍺ 日

署名 福田康宏